

10/23（水）の行事

【石狩振興局プレスリリース】

報道発表資料の配付日時 10月15日（火）15時00分

発表項目 (行事名)	「令和6年度（2024年度）北海道福祉のまちづくり賞」の受賞及び表彰式について 受賞者：空知、石狩、後志管内		
記者レクチャー のお知らせ	(実施日時)	発表者	
		発表場所	
概要	<p>北海道福祉のまちづくり賞は、福祉的配慮に優れた事例を広く道民や関係事業者で紹介し、普及啓発を図ることを目的として、平成10年「北海道福祉のまちづくり条例」の施行の年にスタートし、今年度で26回目を迎えました。</p> <p>今年度も、公共的施設部門、活動部門、福祉用具部門の3部門で募集を行い、福祉、建築、市民活動等の有識者5名で構成する「北海道福祉のまちづくり懇談会」（座長：北翔大学 佐藤 克之 名誉教授）における意見交換や現地確認等をもとに、次のとおり受賞者を決定し、表彰式を執り行います。</p> <ol style="list-style-type: none">受賞者 別添「受賞者一覧」のとおり表彰式 (1) 日時 令和6年（2024年）10月23日（水）14:00～15:00 (2) 場所 ホテルポールスター札幌 2階 コンチェルト (札幌市中央区北4条西6丁目) (3) 賞状授与者 保健福祉部長（知事代理）		
参考	<p>関連行事として、受賞者の紹介を含むパネル等を展示する「北海道福祉のまちづくり展」を開催します。</p> <ol style="list-style-type: none">日時 令和6年（2024年）11月7日（木）、8日（金）9:00～17:00場所 道庁本庁舎1階ロビー		

報道（取材） に当たって のお願い	取材を希望する場合は、事前に下記担当宛て御連絡ください。		
他のクラブ との関係	同時配布 同時レク	道政記者クラブ [令和6年（2024年）10月10日（木）10時配 布済]、空知、後志総合振興局記者クラブ	

担当 (連絡先)	保健福祉部福祉局地域福祉課（担当者：課長補佐 中田） TEL ダイヤルイン 011-204-5267 内線25-604 公用スマホ 011-585-6101 内線11378		
-------------	--	--	--

「令和6年度（2024年度）北海道福祉のまちづくり賞」受賞者一覧

1 公共的施設部門（1件）

番号	施設の名 称	所 在 地	受 賞 者	
			所有者	設計者
1	南幌町 子ども室内遊戯施設 はれっば	空知郡南幌町 美園3丁目1	南幌町	株式会社 創建社

2 活動部門（2件）

番号	団 体 名	所 在 地	主な活動内容
1	北海道札幌あいの里高等支援学校 北海道教育大学札幌校	札幌市北区あいの里4条7丁目1番1号 札幌市北区あいの里5条3丁目1番3号	札幌市北部地域の事業所や学校などと連携し、参加団体がそれぞれ販売活動や活動紹介、ステージ発表、交流しクリエイションなどを行うイベントを開催
2	一般社団法人 余市観光協会	余市郡余市町黒川町5-43	町内の学校や施設、事業者と連携し、Yoichiタータンを活かした商品開発など、つながりとともに地域を盛り上げる取組を行う

3 福祉用具部門（0件）

該当なし

令和6年度（2024年度）北海道福祉のまちづくり賞 受賞理由コメント

1 公共的施設部門（1件）

●南幌町子ども室内遊戯施設 はれっば

- ・所在地 南幌町美園3丁目1
- ・所有者 南幌町
- ・設計者 株式会社創建社
- ・受賞理由

（キャッチフレーズ）

【緑あふれる自然環境で、子どもを育み誰もが集う交流の室内遊戯施設】

（本文）

のどかな農業地帯と振興住宅地に隣接する公園内に建設された子ども室内遊戯施設「はれっば」は「はぐくむ・かんじる・であう・あんしん」のテーマが見える。木の香りあふれる施設内は大きなガラス面を通して四季の移り変わりを感じることができ、交流エリア、体験エリア、遊戯エリアは多目的要素があり活用の幅を広げる。

子どもの視点と利用者の利便性を重視した福祉的配慮が整備され、誰もが安心して楽しめる施設であり、子育て支援に取り組む南幌町のまちづくりが高く評価された。

2 活動部門（2件）

●北海道札幌あいの里高等支援学校

北海道教育大学札幌校

- ・所在地 札幌市北区あいの里4条7丁目1番1号
札幌市北区あいの里5条3丁目1番3号

・受賞理由

（キャッチフレーズ）

【子どもからお年寄りまでが参加し、地学協働の中心的な活動を実践】

（本文）

「参加者それぞれが主役になって自己実現する場」「障がいがあるなしではなく、学生からお年寄りまで、様々な人が必要とされながら関わり合える場」の2点を目指して活動。札幌市北部の地域活性化を目指し、様々な人が関われるコミュニティを作ること
で、共生社会の実現につながる取組を行っている。

高等支援学校が中心となり、地域・大学などと連携を深めながら取り組み、多くの人
が参加している活動であることが高く評価された。

●一般社団法人 余市観光協会

- ・所在地 余市郡余市町黒川町5-43

・受賞理由

（キャッチフレーズ）

【Yoichi タータンを通じて、誰もが笑顔で暮らせる町づくりを！】

（本文）

町の宝物「りんごの赤」「余市湾の青」「波と雲の白」を表現した格子柄のYoichiタータン生地を活かした商品開発を養護学校と連携して行っており、JR余市駅店舗への社会見学や地域の清掃活動への参加、地域住民との触れ合いなど、生徒の外出の機会増加や町民との交流の機会拡大に貢献している。

余市町の資源を活用し、学校や施設、事業者の連携による商品開発など、つながりとともに地域を盛り上げる取組が高く評価された。